



【 これまでありがとうございました。 】

- 今日は、令和4年度の修了式でした。今年度も、年間を通してコロナ禍のため、感染対策と充実した教育活動の両立にあげくれました。



また、3月になってインフルエンザの感染が流行り、学級閉鎖を行いました。このような中で、大きな事故や病気がなく、なんとか無事に修了式を終えることができ、嬉しく思います。

- さて、私は今年度末で定年退職を迎えます。38年間という長い教職人生の中で、井波小学校は格別な学校です。

- 「**恩返し**」。私はこの2年間、私を育ててもらった井波小学校に恩を返したいという思いでいっぱいでした。**井波小学校は、若い時の私を鍛え、育ててもらった場所**です。私は、この井波小学校で、「**子供の思考に寄り添い、子供が主体となる教育活動や授業**」「**子供の成長を最優先する教育観・授業観・学校観**」について学び、その後、私が大きな自信と意欲をもって教育実践をする基礎をつくってもらいました。**今の私があるのは、井波小学校だと言って過言ではありません**。ただ、当時の私はまだまだ未熟で、試行錯誤していた状態でした。私の力が本当に発揮できたのは、私が井波小学校を転出した後です。したがって、当時、私が担任した子供たちにより教育ができたかという、甚だ疑問です。当時の子供や井波小学校に対して申し訳ないという思いがあります。だからこそ、**ここまで成長させてもらった私が、私の原点をつくってくれた井波小学校に「恩返し」をしたいと、強く思っていたのです**。

- もう一方の「**恩送り**」。これは、私が**すばらしい先輩方から受け継いできた「恩」を、後輩教員に伝える**ということです。私の受けた恩は、かなり深いものです。そして、子供へ直接指導は、校長ではなく、(教育公務員特例法上の)教員です。**恩を後輩教員に送ることで、教員が子供の育つ教育実践に取り組み、井波小学校の子供たちが育つと信じて、そのための体制や環境をつくりました**。後輩教員の力が高まったことは事実で、子供たちのために真摯に教育実践をしてくれました。

- 保護者の方、地域の方、子供たち、教職員等の多くの方々、これまで本当にありがとうございました。今後の井波小学校の発展を心から祈っています。